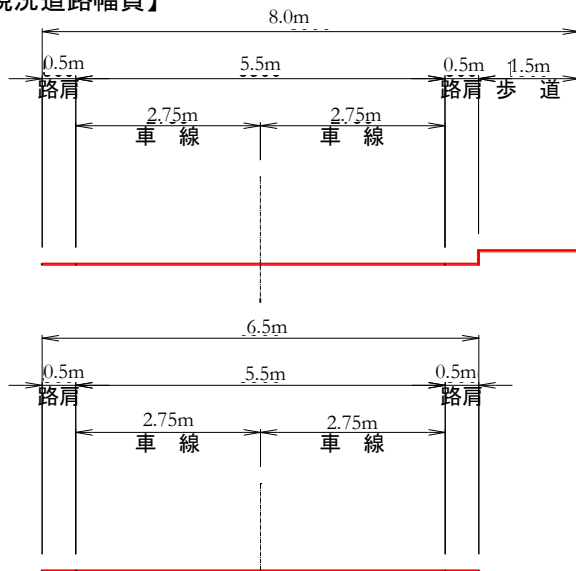


事業概要

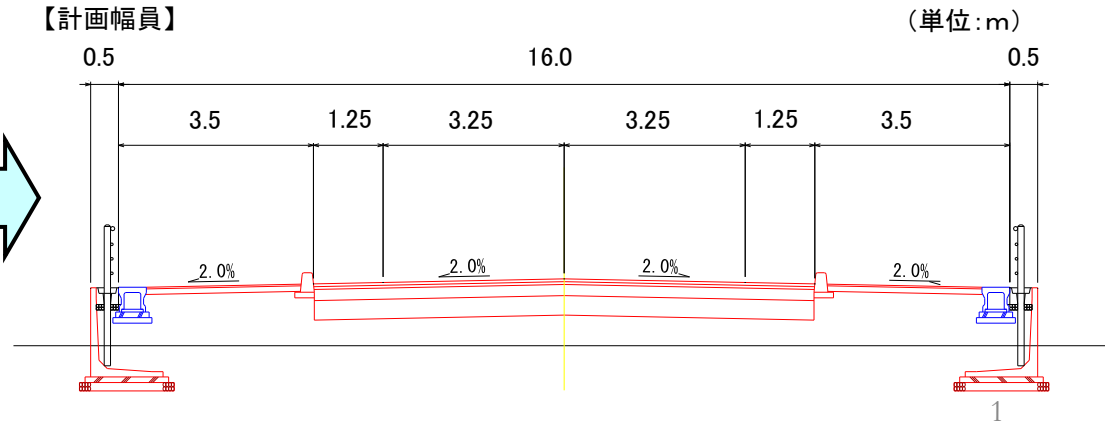


【現況道路幅員】



着手年度 平成21年度
事業費 24億円
事業延長 1.7km
計画幅員 16.0m(両側歩道)

【計画幅員】



事業の必要性



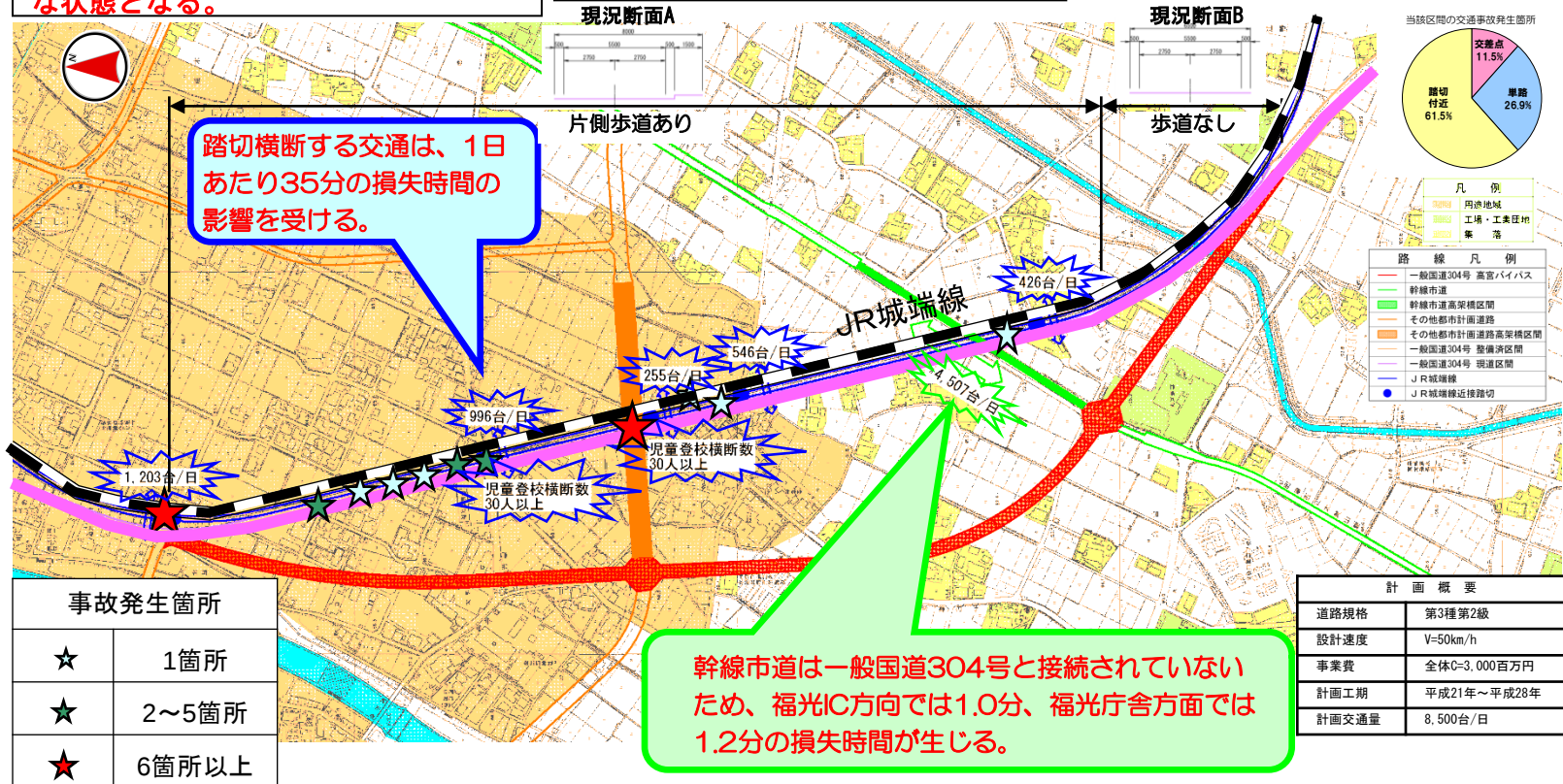
踏切側に歩道が設置されていないため、踏切遮断時は歩行者(児童など)が危険な状態となる。



踏切横断交通が一般国道304号に流入することにより、交通混雑を起こす。



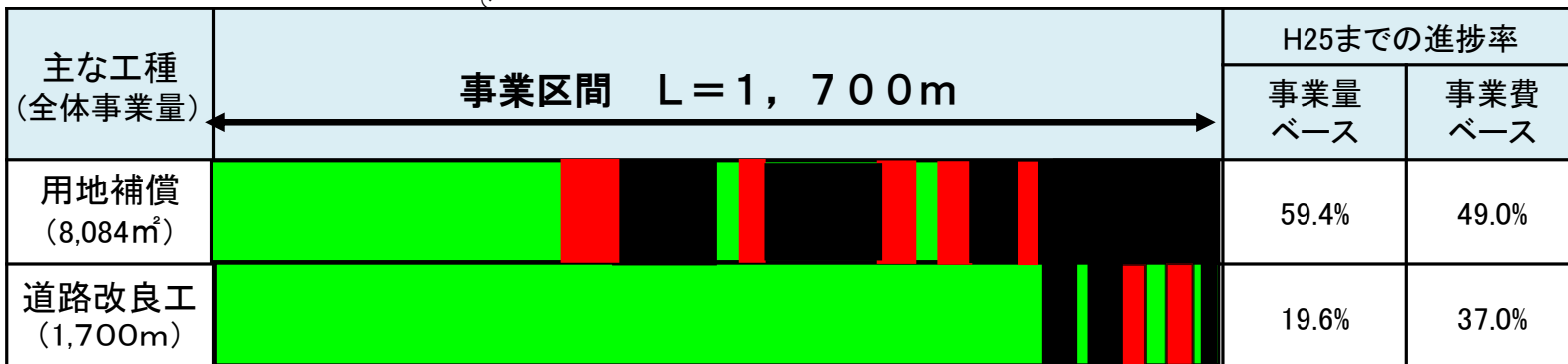
自転車を避けるため、センターラインをはみ出して走行する大型車両



社会経済情勢の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
南砺市人口 ※富山県HP	人	56,163 (H21年4月)	52,975 (H25年4月)	微減
福光東部小学校 児童数 ※南砺市教育委員会	人	431 (H20)	330 (H25)	減少
五箇山 観光客入込数 ※富山県 観光・地域振興局 観光課	人	880,000 (H21)	740,000 (H23)	減少
福光IC出入交通量 ※中日本高速道路株式会社金沢支社	台/年	766,813人 (H18～H19平均)	783,033 (H20～H22平均)	微増
交通量	台/日	8,056 (H17センサス)	7,358 (H22センサス)	—
費用便益比(B/C)	—	1.6 (H20算出)	1.36 (H25算出)	

高宮バイパス L=1,700m



コスト縮減や代替案立案等の可能性

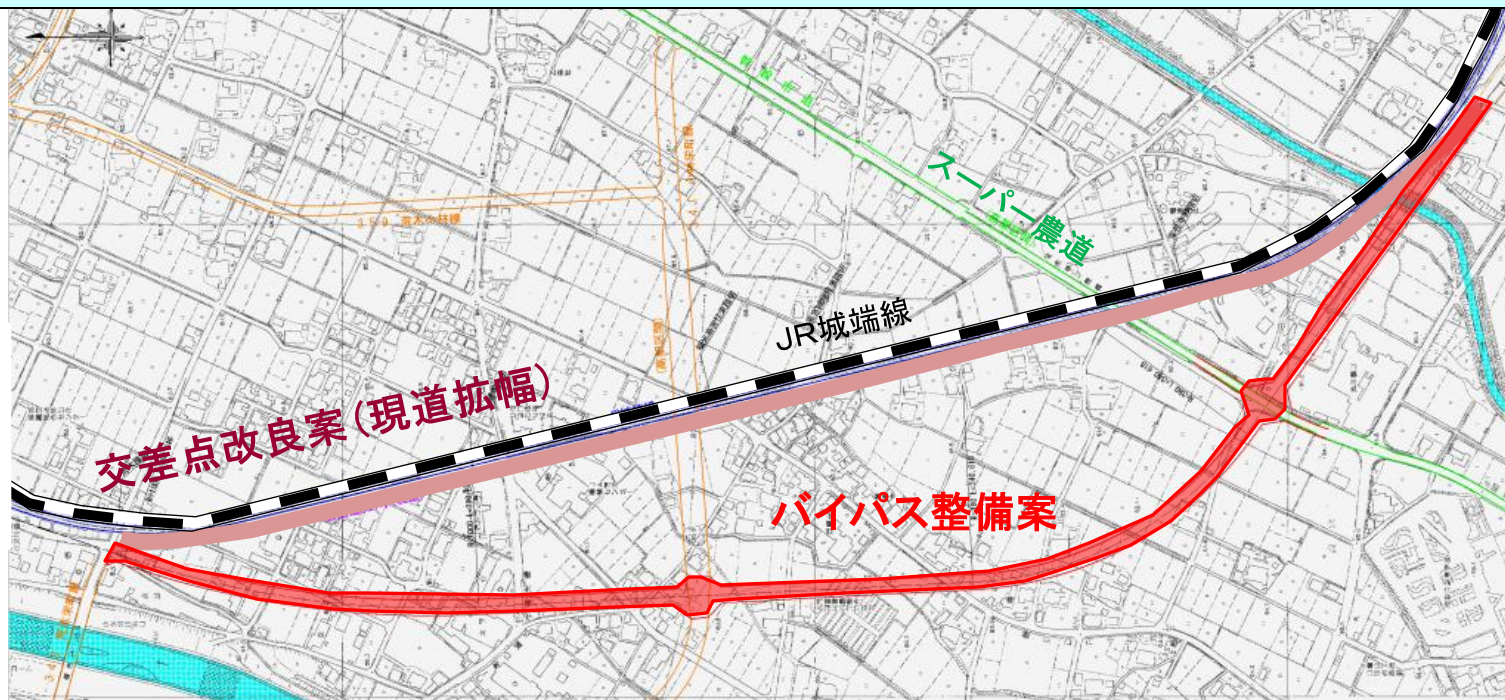
【コスト縮減】

他工事の発生土砂を盛土材等に利用し、盛土材料購入費の縮減、建設発生土の縮減を図っている。

【代 替 案】

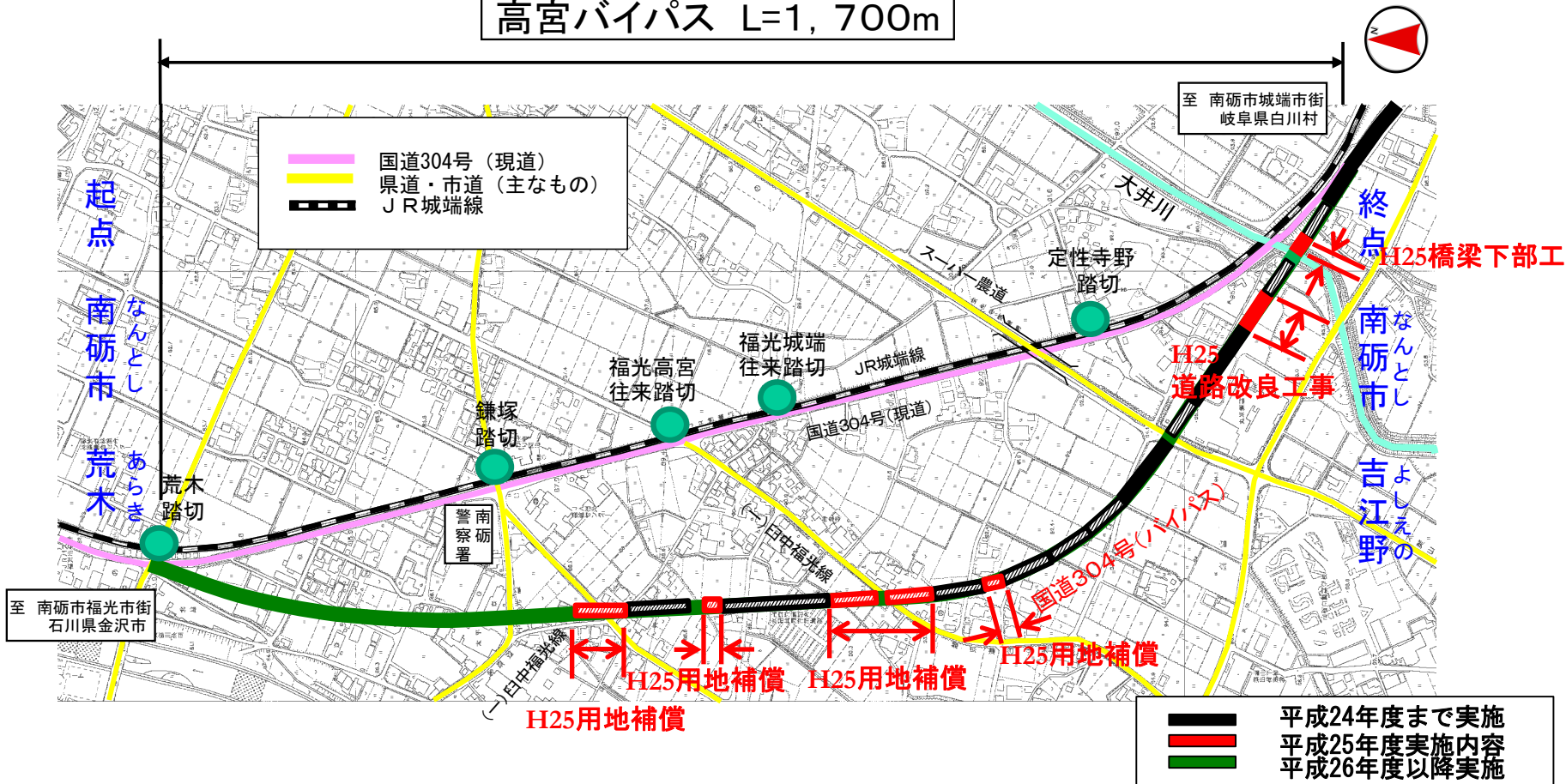
現道拡幅は、コスト的にも不利であるほか、ＪＲ城端線と近接・並走していることによる交通障害は解消されず、安全で円滑な交通の確保が難しい。ＪＲ近接・並走による問題の解消は、一般国道304号とＪＲ城端線(踏切部)にクリアランスを確保することで解消できるが、交差点改良と同時に線形改良も行わなければ線形不良となってしまう。

バイパス案での整備は、コスト的にも有利であり、スーパー農道とも平面交差することから、ＪＲ城端線東側地域と西側地域の一体化が促進され、安全で円滑な交通が確保される。



今後の事業の見通し

高宮バイパス L=1,700m



現計画で事業継続